

平成28年 第2回 社会教育委員会会議録

開催日時 平成28年7月26日(火) 午後1時30分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4A会議室

出席委員 委員長 近藤 慎平
副委員長 林 達夫
委員 近藤 修次
委員 遠藤 茂樹
委員 鈴木 八枝子
委員 田口 容子
委員 柘植 弘成
委員 長谷川 康子
委員 菱川 和之
委員 本藤 和孝
委員 松村 通男
委員 宮地 茂嘉
委員 森川 伸江 (敬称略)

説明のため出席した社会教育委員会事務局等

教 育 長	大 畑 雅 幸
健幸まちづくり課長	梅 村 浩 明
生涯学習課長	伊 藤 英 晃
生涯学習まちづくりセンター長	熊 谷 春 彦
生涯学習まちづくりセンター社会教育主事	遠 藤 滋
中央図書館館長	佐々木 和美
生涯学習課社会教育係長	三 浦 和 彦
生涯学習課総括主査	平 林 範 子

議 題

- ① 平成28年恵那市社会教育委員会第1回会議録の承認
- ② ・平成28年度各課の主要事業について
・施設の利用状況について
・行事予定
- ③ 東濃地区社会教育振興協議会研修会実践発表について
- ④ 第4期家庭教育支援計画進捗状況について

開 会 (午後1時30分)

教育長あいさつ

夏休みの入口には科学の祭典を親子で体験、参加をしていただき、夏休みの出口には「生涯学習フォーラム」の開催を予定しております。また、東濃地区社会教育振興協議会研修会では、中野方かるたを発表していただけるということで、お世話になります。今後も委員さんのお力もかりながら働きかけ、みんなで、地域で、手作りで、取り組んでいくことが、私達が目指しているまちづくり、成人育成につながっていくと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

1 議題① 会議録の承認

平成28年恵那市社会教育委員会第1回会議録が承認されました。

2 議題② 平成28年度各課の主要事業について

委員 体育施設などのPR活動はどういう方法でされてみえますか。

健幸まちづくり課長

広報誌などを利用し体育連盟の方からいただいています。

委員長 例えばアミックスコムなどを利用すると費用がかかりますか。

健幸まちづくり課長

そのような方法も検討したいと思います。

委員 山岡のアリーナの5月の照明料が特別高いように思いますが。

社会教育係長

昨年度も見ていただくと夏場は高い月もありますので、使えば使った分かります。

委員 利用状況ですが、今回と昨年の比較はできますが、どのように変わってきたのかという経過をみるには10年ぐらい資料をつけるといいと思います。

健幸まちづくり課長

資料を確認し次回提出します。

委員 公共施設についてはわかりますが、ゲートボールとかマレットゴルフなど地域で自主的に施設を造ってスポーツをしている方もいるので、そのあたりを調査すると、恵那市は、実際にスポーツをしている人の人口が増えると思います。

健幸まちづくり課長

マレットゴルフ協会等がありますので、そのあたりを可能な限り確認したい
と思います。

委員長 健幸都市宣言をしましたので、意識付けと高揚ということからデータを広く
集め生かしていくこともひとつの方法だと思います。

委員長 他によろしかったでしょうか。

社会教育係長

先ほど体育施設のPRの方法というご意見がありましたが、子ども達に「も
うひとつの夏の友」というものを配布しています。その中に公共施設を巡って
スタンプを集め、最後にちょっとしたプレゼントを渡すという企画を各課連携
して5年ほど前からしています。

3 議題③ 東濃地区社会教育振興協議会研修会の実践発表について

委員 中野方かるた「この町が好き（地域の宝物 み〜つけた）」を発表。

委員長 発表を聞かれてご意見をお願いします。

委員 限られた時間の中でよくまとまっていると思います。

内容的にも社会教育委員の主張にそっていて大変良いと思います。パワーポ
イントの画面で全体を写すのではなく、ポイントを拡大するなどの工夫をする
とさらに良いと思います。

委員長 欲をいうと残り時間の関係もあるでしょうが、集まった句の数や絵札の数等
を強調したり、地域めぐりのあたりは、かるたを見せる工夫があると良いと思
います。小学生が中心で絵札を書いているから、そのあたりを見せる工夫をす
ると良いと思います。そうすることでかるたの紹介にもなると思います。

委員長 他によろしかったでしょうか。

4 議題④ 第4期家庭教育支援計画の進捗状況について

社会教育係

資料の確認をさせていただきます。A4サイズの資料「東濃地区の家庭の教育力
向上を目指して」が3枚、A3サイズの資料「家庭教育学級の学習の取組み」と「発

「発達段階ステージ表」の2枚になります。最初にA4サイズの「東濃地区の家庭の教育力向上を目指して」をご覧ください。県または東濃地区の家庭教育の推進の重点が書かれています。恵那市もある程度その流れに沿って進めておりますので、それに沿って説明をさせていただきます。

重点の一つ目として「家庭教育のリーダー研修の開催」とあります。年齢に応じた家庭教育を推進するために保護者またはその立場にある関係者向けに毎年研修が実施されております。

また、重点の上から三つ目に「話そう！語ろう！わが家の約束」運動の展開というものがあります。この研修に参加した小中学校の保護者やその関係者が研修で学んだことを持ち帰り、取り組んだ結果を資料A3サイズの「家庭教育の学習の取り組み」として平成27年度の実績が一覧にしてあります。この表をみていただくと多くの学校で「話そう！語ろう！わが家の約束」について取り組んでいることがわかります。

1回目の委員会でもご意見をいただいております子ども園についてですが、同じように乳幼児期の家庭教育リーダー研修に参加した園または保護者から要望のあった園に対して、補助金を交付し実践されております。平成27年度までは、大井子ども園、東野こども園、二葉こども園の3園でしたが、平成28年度より武並こども園も取り組むことになっています。

現状についてですが、上の3園については、もともと幼稚園だったため現在も昼間の活動が多く、今年度から取り組む武並子ども園については、保育園であったため働いている保護者が多いので、祖父母にも「家庭教育」を発信していく取り組みを行っているようです。

重点の上から七つに目家庭教育プログラム「みんなで子育てⅡ、Ⅲ、Ⅳ」の活用とありますが、このプログラムのⅡ（乳幼児期）の中にトイレトレーニングというプログラムがあります。実際各地域にある多くの乳幼児学級で取り入れて活動がされ、保護者にも大変好評です。

プログラムにつきましては、回覧をさせていただきますので、ご覧ください。

次に重点の上から六つ目に家庭教育学級運営マニュアル「みんなで子育て」の活用推進というものがあります。これはもう1枚のカラー刷りA3サイズの資料「発達段階ステージ表」をご覧ください。年齢にあった「家庭教育」を考えるとやはりこのマニュアルを活用するのが良いので、表の左側「親育ちの視点」の欄までは、このマニュアルを引用したものです。引用した部分を資料として配布させていただきましたのでご覧ください。

次にカラー刷りの「子ども子育て支援事業計画」をご覧ください。1ページ目の中間あたりに「恵那市次世代育成支援行動計画」があります。その中にさまざまな施策があります。

お手元の「次世代育成支援行動計画」をご覧ください。具体的な事業の一覧表となっております。この資料に沿って子育てに関わる各課の事業をA3サイズ「発達

段階ステージ表」の親育ちの視点から下に色分けをし、整理しました。

その中でも下の色分け部分のピンク「こどもが健やかに成長できる教育環境の整備」というところが特に家庭教育に関わるところで、関係する所管課や組織を確認していただくことができると思います。

前回委員さんからご指摘をいただきました「どういうところができていて、どういうところができていないのか」という点ですが、「次世代育成支援行動計画」の80ページから87ページをご覧ください。左側から事業名、担当課、事業内容、平成26年度の実績、今後の事業展開、目標指標となっています。84ページをご覧ください。(2)教育環境の充実とあります。ここでどういうところに取り組み、今後どういうところに取り組みなければならないのかということをおある程度把握していただくことができると思います。この資料には実績と今後の事業展開まで入っておりますが、平成31年までの目標指標が確認できておりません。

今後は各課の担当者との調整が必要となりますので、事業の成果を検証し、現状と課題などを次回までにお示しできるようにしたいと思っております。

ステップ親子学びプランにつきましても、現状の把握に沿って変更をしていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。 以上です。

*確認資料…また、他の資料としまして、「東濃地区の家庭の教育力向上を目指して」の2枚目に近藤委員長より提供いただいた「波佐見っ子」と「みんなで家庭教育」と「わが家の約束」を配布させていただきました。

委員長 ご意見を順番にいただければと思います。

委員 家族が昔に比べると一緒に過ごす時間が少なくなっていると思います。各学校での取り組みの中で食育が多く見られますが、昔であれば家庭の中で自然に身に付いていたようなことが身に付かなくなっているように感じます。せめて月に1回ぐらい子どもを対象にお料理の寺子屋みたいなことができるといいと思います。

料理は火や包丁も使い危険も伴うので、中学生や高校生にボランティアをお願いして安全に関して手を出さず見守ってもらいます。口や手を出さず見守るだけというのは難しいですが、事前に研修をして取り組んでもらうことにより、その子達が今度自分達の子育てをする時に見守ることが役にたつときがくるのではないかと思います。料理は総合学習でマナーや理科を学ぶことができ、季節も感じることで大変役に立つのではないかと思います。

委員 家庭教育学級の学習の取り組みでどこの学校もお弁当を作る活動が多く見られます。本当に良い取り組みだと思えます。明智小学校は随分いろいろなことに取り組んでいるようで学校ごとに特色があることがわかりました。

もう一点「ポケモンGO」というゲームが流行っています。海外でもこのゲームによる大きな事故があったようですが、駅のホームでもポケモンが出現するので、駅の係員としても安全の確認をしなければならないので、危険が伴う案件についてとりまとめが必要だと感じます。

委員 家庭教育学級でもSNSについて取り組んでいる所が多いですが、隣の部屋にいるのにラインでやりとりしたり、子どもをしかるのにもラインでする人がいるようです。便利ですが使い方を間違っはいけないとつくづく思います。

市子連の方でもジュニアリーダーが本当に育っていません。本来もっと育てていかなければいけません。これも時代の流れで仕方がないのか本当に寂しい限りです。何とか後継者を育てていかなければならないのですが、方法を模索中で、現在大変申し訳ないですが、子ども会の方でも市民会議の方でも期待に添えない状況です。

委員 最初に今度の実践発表で、3年ほど前に「中野方のかるた」については紹介をしていただきましたが、最後の民話「きつねの毛の玉」は知りませんでした。大変よかったですと思います。パワーポイントの方は、きつねのイラストなどを2、3枚入れたらどうかと思います。

家庭教育支援の方ですが、発達段階ステージ表で関わっている個所が、高齢福祉課です。現在壮健クラブで教育支援のひとつとして小学校の栽培学習を1年生から6年生まで、野菜を作ったり稲を栽培したりして長年続けています。子どもはその学習を通して自分でつくることで「すごい！」と言って感動し、またこちらもそれを見てうれしくなります。小学校の登下校の見守りもしていますが、先日学校の評議委員会で「最近子どもが全然あいさつをしない」と意見がでました。これからは、あいさつなどにも取り組んでいきたいと思います。

委員 各学校の取り組みをみて本当にすばらしいと思いました。残念なのは子ども園で家庭教育の学習に取り組んでみえるのが4園しかない。この時期はどの園でも家庭教育の学習に取り組まなければならないのではないかと思います。

自分が現場にいた時は、参観日など特別なことをしないでお母さん達に「おはよう」と声をかけながら、くつをそろえる姿を見ていただいたり、くつはをそろえようねと指導をしたりしていました。下の子がいれば、家においでくるのではなく連れてきて、親が話を聞く間、その場で静かに遊べるような工夫を伝えていく。そういう基礎、基本を親さん達に学んでもらわなければならないと思っています。これからの取り組みの中にも入れていただければと思います。組織や担当者が変わっても恵那市の取り組みとして、ここだけは大切にしていこうというものが重要だと思います。

委員 何か講演会があるので集まってくださいと言っても限られた人だけになっ

てしまいます。こども園単位ならほとんどの家庭が対象になります。最初に委員長さんが言われたように、大きなことに取り組むのは大変ですが、まずは小さなことでも取り組んで、ちりも積もれば山となるではないですが、お母さんに声かけをしたりして、ほっとしてもらおう。そういう繰り返しが大切だと思います。

子ども園になって保育時間の格差などがあり、現場はそこまで手が回らない現状があると思いますが、先日若者会議に出た時に出席されていた親御さんから「子ども園になってどこが良くなったのかわからない」という意見がありました。子育ては子ども園になったからここが良くなったと目に見えて出るものではないと思います。やはり目の前のできることから取り組んでいくことが大切だと思いますので、職員の方がちょっと会話をして親御さんに寄り添うことから始めることが家庭教育学級の入口になるのではないかと思います。

行政も子育てに関わる課が多すぎて大変ですが、ここで何かをやらうとする時に委員長さんからの提案にもあったようなことを考えたらどうかと思います。わが家の家訓ではないですが、形からでもいいので、「いただきます」「ごちそうさまでした」とか、くつをそろえるでもいいので、しつけのひとつとして「わが家を見直そう！」など、みんなでやってみようというような取り組みを「夏の友」と一緒にすることで家庭教育につながっていけばいいのではないかと思います。

委員 情報を集めていますが、子ども園以下の情報が入ってきません。乳幼児の親御さん方はかなり困っているようです。核家族化で相談相手が欲しいというようなことも聞きます。家庭教育の支援の状況が一覧にしてありますが、たての繋がりはあるが横のつながりがないように思います。生涯学習で見ると、乳幼児期から学童期で在園期の家庭教育が切れてしまっているの、よこの繋がりも切れないうよう支援できると良いと思います。

委員 子どもの教育ではなく親の教育が大切です。子どもの前で先生の批判をする親がいます。親が批判する先生のいうことを子どもが聞くわけがない。このようなことから、この地域でも以前先生が亡くなるようなことがあり、人間の尊厳について全校集会をしました。子ども園、小学校、中学校の教育の中で一番足りないところだと思います。また、社会教育の中に老人教育があれば是非参加したい。高齢者が次の時代は何が必要か考える、壮健クラブの教育支援で学校の生徒が野菜を作っている取り組みは大変素晴らしいと思います。こういうことが命の大切さを育てていくと思います。結果的には恵那市の子ども達が「人間の尊厳は何だ？」と聞かれたら答えられるような大人になってほしいと思います。

委員 子どもというのは親の背中を見て育つと思います。親と子または祖父母家族が同じ気持ちで教育をすることが大切だと思います。家族の一人ひとりがバラバラの考えでは何事も進まないと思います。私は山岡に住んでおりますが、山岡の子ども園に家庭教育学級がないのが残念です。こあたりも取り組みが進むといいと思います。

委員 食育の話がありましたが、普段NPOの子育てドロップスで活動しています。以前は小学生向けに自分でもご飯が作れるようにと、年に何回かスタッフが講師でボランティアに中学生を呼んで一緒に取り組んでいました。最近ではそのような取り組みができていないので、またできるといいと思います。

お弁当の日の話もでしたが、年々キャラ弁当などを作る子どもでできました。また、そういうお弁当が評価されやすい。PTAの役員をやっていた時に、東中は白鳩学園からも生徒さんがみえるので、状況を考えてみんなおにぎりにしましたが、おにぎりならどんな形でもかまわない。具は別にせず中に入れる、自分で工夫してもらってくるなど、キャラ弁を作りたかった子からは不評でしたが、男の子等はいくつもおにぎりを持ってくる子もいました。結果的にそれがよかったのか、悪かったのかは分かりませんが誰でもご飯さえ炊ければ何とかなるのかなと思います、子どもが中学の時には学校で取り組みました。

話は変わりますが、子どもは当然地域の知っている方にはあいさつをしますが、町の中を歩いていて出会った人誰にでもあいさつができるかといえば難しい時代になってしまっているのかなと思います。

委員 かるたの発表は作成の経緯もわかり大変よかったと思います。その活動が中野方だけでなく恵那市全域に広まると良いと思います。また広めていけるようにすることが教育の一つの仕事であると感心して聞かせていただきました。

以前、社会教育指導員、社会教育主事、青少年指導員をしていましたので、そういう観点から感じたことは、町の中では託児所が足りず、待機児童のことが問題になっていますが、恵那市は市長部局も教育委員会部局も子育てに力をいれてみえます。発達段階ステージ表から見ても、生まれてから高齢者までをコーディネートするところが必要だと思います。

学校や県は協力しようと思っています。乳幼児についても行政の方が直接家庭教育学級に携わって一生懸命されていますが、園、小、中の部分すべてを行政の方だけで補っていくことは難しいと思います。東濃でも家庭教育のリーダー研修が開催されていますが、恵那市でも行政がどういう方向で進めていくかを決め、在園期から学童期の家庭教育のリーダーを育てる研修が必要だと思います。この一覧にあるものが全てでなく、それぞれが取り組んでいると思いますが、園や学校ごとに家庭教育に対する温度差があるように思います。もともと家庭教育自体がそれぞれの家庭の持ち味を生かしていくことが基本ですが、

それを行政がどうバックアップしていくか、具体的なコーディネーターが必要だと思えます。

また、命の教育が本当に大切で、聖路加病院の篠原先生が生きる教育だけでなく、死ぬということも考えた教育が必要だと言われています。学校ではキャリア教育と言いますが、そういうものを取り入れることで、さらに素敵な子育て支援ができると思えます。

副委員長

一番大切なのは、子どもに自信を持たせるということだと思えます。それぞれの園、小学校、中学校の現場で、全員の子に教師は一人ひとりの良さを本当に認めているか。家庭でも子どもの良さを認めているのか。それがないと子どもは自信がもてないと思えます。全てがいいはずがありません。やはり良さを認めていく家庭教育をする必要があると思えます。そうすることで私は、これはだめだけど、これはできると自信をもちます。掃除を進んでする子、給食を沢山食べる子。なんでもいいので、みんな値打ちがあるよと、認めていかないと子どもは自信を喪失してしまいます。子どもに自信をもたせることで、さらにできることが増え発展していきます。発達段階ステージ表の表題「心豊かでたくましい恵那っ子を育てよう」とするなら、それが基本にないとだめではないかと私の今までの経験から思えます。それを是非お願いしたいというのが一つ。

校区の園、小、中のPTA、保護者会、学校関係者が一同に会して同じ地区でこういう方向で進みましょうと決め、さらに基本に沿ったその年齢でできることに取り組むことを継続することで一本すじの通ったものになると思えます。そういう取り組みを位置づけるというのが二つ目です。

「運動習慣はじめの一步」というのを健幸まちづくり課で取り組んでみえますが、年齢に沿った段階がはっきりしないので、例えば在園期は運動神経を育てる、小学校では、筋力、瞬発力、持久力等、行政がそれぞれの時期にあった運動を紹介することで、できる子が増え、自然に運動が好きになる。10歳までに90%の運動神経が伸びると言われています。その時期に運動神経に関わることに取り組むことが三つ目です。そうすることで中学になると記録も伸びてきますのでお願いします。

委員長 ありがとうございます。ずいぶんいろいろなご意見、感想をいただきましたが、非常に多岐にわたるので一度にすべてはできないと思えます。方法として重点化していくというのも一つだと思えます。例えば年度別の重点化、そういうことをしないと、計画は作ったが進捗状況がつかめないというようなことになりかねないと思えます。家庭教育をみた場合、スタートである幼児教育を重点化してやっていくとした場合、恵那市は子ども園化をして、何をねらいに

どのような教育活動をしていくのかということをもひとつ明確化するだけでも財産になるのではないかと思います。恵那市の子ども園はどここの園でも最低このことだけはやっているということが明確になれば園としてもひとつの目標ができるし、地域としても協力することが何か分かり、家庭でも理解できるように思います。

みなさんの意見を聞きながらそのようなことを感じましたので、今後ご意見いただきながら考えていきたいと思っております。よろしくお願いたします。以上で議事を終了します。報告事項を事務局からお願いします。

社会教育係長

各種研修の確認

生涯まちづくりセンター長

生涯学習フォーラム参加の確認

三学のまち講座案内

社会教育係長

次回社会教育委員会日程の確認

副委員長

委員みなさんの意見も聞くことができましたので、行政の方はこれを組みとっていただき、恵那市の子育てを進めていただきたいと思います。今日はご苦勞様でした。

午後 15 時 40 分閉会。

平成 28 年 7 月 26 日

社会教育委員 近 藤 慎 平

社会教育委員 林 達 夫